

・アオイトトンボ科

1. ホソミオツネトンボ *Indolestes peregrinus*

2009年に園内で撮影記録がある(引用文献9)のみで、その後記録はないが、近隣の地域には分布しているので、定着している可能性がある。

【記録】

・2009, 04, 12 1♀ 文献記録 新堀修(引用文献9参照)

2. アオイトトンボ *Lestes sponsa*

ハッチョウトンボの遊園地で観察されるトンボで、単独で背の止まっている姿や、植物の茎に産卵している姿が見られる。

【記録】

・2012, 09, 06 1♂1♀ 撮影 中田達哉

3. オオアオイトトンボ *Lestes temporalis*

森の生態園の林道や、林縁部で見られるトンボで、単独で止まっているものや、集団で連結産卵しているものを見る事が多い。

本種はアオイトトンボと異なり、木の枝などに産卵する事が多いので、林道内でも産卵している姿が見られる事がある。



【記録】

・2012, 09, 29 3♂3♀(産卵個体) 撮影 中田達哉

・2013, 10, 04 1♂ 撮影 垣地健太

・カワトンボ科

4. ニホンカワトンボ *Mnais costalis*

2011年6月と2012年5月に水辺の生態園で、オス1匹が目撃されただけである。

はっきりとした記録が無く、確認されている個体数も少ないため、ねいの里近隣の河川で発生した個体が飛来してきた可能性が高い。

【備考】レッドデータブックとやま2012：準絶滅危惧

【記録】

・2012, 05, 16 1♂ 目撃 垣地健太

5. アサヒナカワトンボ *Mnais pruinosa*

サンショウウオの託児所やミズバショウの湿地、ハッチョウトンボの遊園地などで単独

で観察される事が多い。

【記録】

・2012, 05, 21 1♂ 撮影 垣地健太

6 . ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata*

水辺の生態園の水路や林内で見られる事が多い。

ねいの里で繁殖が確認されているトンボの中でも個体数は特に少なく、林縁部で飛翔している個体や植物の葉に止まっている個体が見られる。

【備考】河川改修等の影響で、日本全国で減少しているトンボの1つ。

【記録】2012, 08, 16 1♀ 撮影 中田達哉

・モノサシトンボ科

7 . モノサシトンボ *Copera annulata*

ねいの里園内のほとんどの水辺で観察されるトンボで、単独もしくは植物に連結産卵している姿が観察される。

【記録】

・2012, 08, 11 3♂ 採集・標本 池井歩夢・折口奈々緒・鷲本彰子

・イトトンボ科

8 . キイトトンボ *Ceriagrion melanurum*

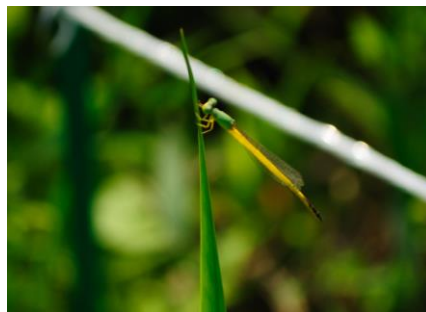
モリアオガエルのプール、ハッチョウトンボの遊園地で見られ、単独もしくは植物に連結産卵している姿がよく観察される。

【記録】

・2012, 08, 11 1♂ 採集・標本 牧谷舞弓

・2013, 07, 19 1♀ 撮影 垣地健太

・2013, 09, 13 1♀ 撮影 垣地健太



9 . エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum*

メダカとテツギョの池、1号池などで記録があるが、2009年以降記録が無い。

単独もしくは植物に連結産卵している姿が観察されている。

【記録】

・2009, 05, 24 1♂ 文献記録 新堀修(引用文献9参照)

10. クロイトトンボ *Paracercion calamorum*

5号池や下部庭園で単独もしくは植物に連結産卵している姿がよく見られる。

本種は沈水植物に産卵する事もあるため、水中で観察される事もある。

【記録】

- ・2012, 06, 18 1♂1♀ (産卵) 撮影 中田達哉

11. オオイトトンボ *Paracercion sieboldii*

水辺の生態園全域で、単独もしくは植物に連結産卵している姿がよく見られる。

クロイトトンボ同様に沈水植物に産卵する事もあるため水中で観察される事もある。

【記録】

- ・2012, 06, 18 1♂1♀ 撮影 中田達哉
- ・2013, 05, 15 1♂ 撮影 垣地健太
- ・2013, 05, 22 1♂ 撮影 垣地健太



12. モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion*

2号池、ハッチョウトンボ遊園地で見られる。

【備考】 ねいの里に定着していた個体もいるが、2012年に富山市婦中町嘉礼谷の生息地が埋め立てられる事が決まったため、2011年6月17日に嘉礼谷の個体群を園内に移植した。

ねいの里での発生期は6月中旬から8月上旬で、単独で見られることが多い。

- ・環境省レッドリスト：準絶滅危惧
- ・レッドデータブック富山2012：絶滅危惧Ⅱ類

【記録】

- ・2012, 07, 14 1♂ 撮影 中田達哉

13. アジアイトトンボ *Ischnura asiatica*

ハッチョウトンボの遊園地や下部庭園で単独もしくは連結している姿がよく見られる。

【記録】

- ・2012, 06, 18 1♂1♀ (連結個体) 撮影 中田達哉

・ヤンマ科

14. サラサヤンマ *Sarasaechna pryeri*

展示館前の芝生広場、炭焼き小屋前の広場、ハッチョウトンボの遊園地で記録がある。

林間で縄張りを張り飛翔している姿を目にする事が多い。

【記録】

・2012, 06, 03 1♂ 採集・撮影 野口達也

15. コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani*

2011年9月、2012年の8月に展示館の中でオスの死骸が見つかっただけである。  
近隣の河川で発生したものが飛来した可能性がある。

【記録】

・2012, 08, 31 1♂(死骸) 採集・撮影 中田達哉

16. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei*

森の生態園の林道や、ミズバショウの湿地で見られる。

林内を飛翔している姿や、静止している姿が観察されており、ハッチョウトンボの遊園地やミズバショウの湿地では、羽化している個体が観察されている。

【記録】

・2012, 07, 27 1♀(羽化個体) 撮影 垣地健太

・2012, 08, 04 1♀ 採集・標本 垣地健太

・2012, 10, 31 1♂ 撮影 中田達哉

17. アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma*

2011年、2012年の6月に水辺の生態園で目撃記録があるのみ。

大池のヨシが近年分布域を拡大しているので、定着している可能性がある。

【備考】レッドデータブックとやま2012：準絶滅危惧

【記録】

・2012. 06, 16 1♂ 目撃 中田達哉

18. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martine*

下部庭園、ハッチョウトンボの遊園地で見られる。

植物の茎に産卵しているメスや、黄昏時のヤンマ科の群飛で見られる事が多い。

【記録】

・2012, 07, 21 1♀ 撮影 澤田研太

19. ヤブヤンマ *Polycanthagyna melanictera*

モリアオガエルのプール、メダカとテツギョの池、サンショウウオの第1託児所で見られる。

ねいの里での発生期は6月下旬から9月中旬で、池の上で縄張りを張るオスや産卵中のメス、黄昏時のヤンマ科の群飛で見られる事が多い。

メスは暗い湿地を好んで産卵する。

【記録】

- ・2012, 08, 10 1♀ 採集・標本 中田達哉

20. オオルリボシヤンマ *Aeshna crenata*

5号池周辺で多く見られる。

池の上で縄張りを張っているオスや、植物に産卵するメスの姿が見られる。

【記録】

- ・2012, 09, 24 1♂ 採集・標本 上田弥生
- ・2013, 10, 04 1♀(産卵) 撮影 垣地健太

21. ルリボシヤンマ *Aeshna juncea*

ハッチョウトンボの遊園地で見られる。

2011年に湿地の上で縄張りを張っているオスが確認され、2012年には羽化している個体や、植物に産卵するメスの姿が見られ、繁殖が確認された。

【記録】

- ・2012, 07, 08 1♀(羽化個体) 撮影 野口達也
- ・2012, 09, 24 1♂ 採集・標本 吉田みなみ
- ・2012, 10, 01 1♂ 撮影 垣地健太

22. ギンヤンマ *Anax parthenope*

水辺の生態園全域で見られるトンボで、池の上で縄張りを張るオスや、連結しながら植物に産卵する姿がよく見られる。

【記録】

- ・2012, 08, 10 1♂ 撮影 中田達哉

23. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus*

2号池、5号池、ハッチョウトンボの遊園地等で、5月中旬から7月上旬に池の上で縄張りを張るオスや、単独で植物に産卵するメスがよく見られる。

8月下旬から9月下旬にかけて秋型の個体が発生する事がある。

【記録】

- ・2012, 05, 21 3♂(羽化個体) 撮影 中田達哉
- ・2013, 05, 02 1♂(羽化個体) 撮影 垣地健太



- ・サナエトンボ科

#### 24. ウチワヤンマ *Sinictinogomphus clavatus*

2011年7月に大池で縄張りを張っている個体を目撃した記録があるのみ。  
アオヤンマ同様定着している可能性が高い。

##### 【記録】

- ・2011, 07, 26 1♂ 目撃 中田達哉

#### 25. コオニヤンマ *Sieboldius albardae*

5号池やハッチョウトンボの遊園地で見られるトンボで、単独で植物の上に止まっている姿がよく見られ、2012年8月11日に行われた行事「トンボの調査と研究」では連結して飛び去る姿も観察されているため、ねいの里内で繁殖していると考えられる。

##### 【記録】

- ・2012, 08, 11 1♀ 採集・標本 池井歩夢
- ・2012, 08, 22 1♂ 採集・標本 野口達也
- ・2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太



#### 26. コサナエ *Trigomphus melampus*

メダカとテツギヨの池、2号池、3号池、ハッチョウトンボの遊園地で見られる。

植物に止まっている姿や、メスが産卵している姿が見られる。

##### 【記録】

- ・2012, 05, 21 1♂ 撮影 中田達哉
- ・2013, 04, 28 1♀ (羽化個体) 撮影 垣地健太
- ・2013, 05, 15 1♂ 撮影 垣地健太



#### 27. ヤマサナエ *Asiagomphus melaenops*

ハッチョウトンボの遊園地や森林生態園の尾根筋でよく見られ、植物に止まっている姿が見られる。

未熟期を森林生態園の日当たりのよい樹上で過ごし、成熟するとハッチョウトンボの遊園地で過ごす傾向が見られる。

##### 【記録】

- ・2012, 05, 26 1♂ 撮影 垣地健太

・ムカシヤンマ科

28. ムカシヤンマ *Tanypeteryx prieri*

展示館前やハッチョウトンボの遊園地で見られるトンボで、アスファルトや切り株など、平らな場所に止まっている事が多く、飛ぶ事がにがてで、飛んでもすぐ近くに止まる事が多い。

【記録】

- ・2012, 05, 20 1♂ 撮影 垣地健太
- ・2013, 05, 22 1♂ 撮影 垣地健太



・オニヤンマ科

29. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

山間部の河川や小川、湿地等で見られるトンボで、ねいの里では、展示館前や森林生態園の林道、水辺の生態園の水路沿いで見られる。

日本最大のトンボで、体色は黒地に黄色の斑、未熟のメスは翅の基部が橙色になる。

発生初期は林内の開けた場所の上空を群飛する行動が見られ、発生中期から後期にかけ、林縁部で縄張りを巡回するオスや小川の浅瀬に産卵するメスが見られる。



【記録】

- ・2012, 08, 24 2♂ 採集・標本 中田達哉
- ・2012, 09, 01 1♀ 撮影 垣地健太
- ・2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太

・エゾトンボ科

30. トラフトンボ *Epitheca marginata*

ねいの里では主に5号池と大池で見られるトンボで、未熟個体は林縁部や林内の開けた場所を巡回し、成熟したオスは池の上を巡回する姿が見られる。

本種は2010年までは大池のみの記録であったが、2011年6月に5号池で産卵しているメスが目撃され、2012年には5号池を巡回するオスが撮影されている。

【備考】レッドデータブックとやま2012：準絶滅危惧

【記録】

・2012, 06, 03 1♂ 撮影 中田達哉

31. タカネトンボ *Somatochlora uchidai*

モリアオガエルのプールやサンショウウオの託児所で見られるトンボで、主に林内で休んでいる姿や暗い池の上で縄張りを張っているオス、池の縁で産卵しているメスが見られる。

【記録】

・2012, 09, 15 1♂ 撮影 中田達哉

32. エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea*

ハッチョウトンボの遊園地で見られる。

湿地の上で縄張りを張るオスの姿が見られる。

【記録】

・2012, 08, 10 1♂ 撮影 中田達哉

・2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太



・ヤマトンボ科

33. オオヤマトンボ *Epopthalmia elegans*

大池でよく見られるトンボで、池の上で縄張りを張るオスの姿が見られる。

5号池でも観察記録がある。

【記録】

・2012, 08, 10 1♂ 撮影 中田達哉

34. コヤマトンボ *Macromia amphigena*

展示館付近で見られるトンボで、展示館内に迷い込んで捕獲されたものの記録がほとんどであったが、2012年7月に園内で縄張り行動をしているオス1匹の捕獲記録がある。

【記録】

・2012, 07, 08 1♂ 採集・撮影・標本 野口達也



・トンボ科

35. チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa*

5号池や大池で背の高い草や立木の上で縄張りを張っているオスの姿が見られる。

【備考】レッドデータブックとやま 2012：準絶滅危惧

【記録】

・2012, 07, 08 1♂1♀ 撮影 中田達哉

・2013, 07, 19 1♂1♀ 撮影 垣地健太



36. ナツアカネ *Sympetrum darwinianum*

園内の日当たりのいい開けた場所で静止している姿がよく見られる。

【備考】一時農薬の影響で激減した(参考文献:14)。

レッドデータブックとやま 2012：情報不足

【記録】

・2012, 09, 14 1♂ 撮影 垣地健太

37. リスアカネ *Sympetrum risi*

モリアオガエルのプールや水辺の生態園全域で見られ、未熟個体は森の生態園の林道でよく観察され、成熟個体はモリアオガエルのプールや水辺の生態園の水辺で観察される。

【記録】

・2012, 08, 23 1♂ 撮影 中田達哉



38. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum*

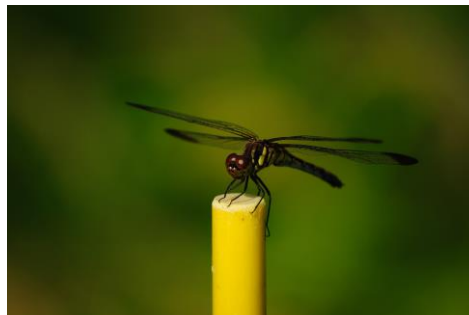
園内の開けた場所で見られる事が多い。

【備考】一時農薬の影響で激減した(参考文献:14)。

レッドデータブックとやま 2012：情報不足

【記録】

・2012, 09, 16 1♂ 撮影 中田達哉

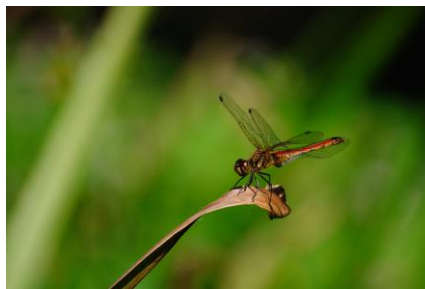


39. アキアカネ *Sympetrum frequens*

園内の開けた場所で見られることが多い。

6月下旬に羽化した未熟個体は、夏場に標高の高い山に移動する習性があるため、7月から8月にかけていったん姿を消し、9月中旬頃から再び成熟個体が見られるようになる。

12月中旬まで観察記録があり、雪の上でもみられることがある。



【備考】

日本人に最もなじみの深い赤とんぼで、一時農薬の影響で激減した(参考文献:14)。

レッドデータブックとやま 2012 : 情報不足

【記録】

・2012, 12, 03 1♂ 撮影 中田達哉

40. タイリクアキアカネ *Sympetrum depressiusculum*

2003年に園内で羽化している個体の写真が撮影された(参考文献1)記録のみ。

季節風に乗って大陸から渡ってくる種であるため、前年に飛来した個体が繁殖した可能性が高い。

【記録】

・2003, 06, 29 1♂(羽化個体) 撮影 川村日出男

41. コノシメトンボ *Sympetrum baccha*

開放的な池や水田で見られるトンボで、ねいの里ではまれに水辺の生態園で見られる事がある。

【記録】

・2012, 09, 16 1♂ 撮影 中田達哉

42. ヒメアカネ *Sympetrum parvulum*

未熟個体は森林生態園の林道で見られ、成熟個体はハッコウトンボの遊園地の水辺の草の上で静止している姿が見られる。

【記録】

・2012, 10, 15 1♂ 撮影 垣地健太

43. マユタテアカネ *Sympetrum eroticum*

モリアオガエルのプールや水辺の生態園で見られるトンボで、未熟個体やメスは森の生態園の林道で見られ、成熟したオスは、池の中に生えている草に静止している姿が見られる。

【記録】

- ・ 2012, 10, 15 1♂ 撮影 垣地健太
- ・ 2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太
- ・ 2013, 09, 13 1♂ 撮影 垣地健太



44. マイコアカネ *Sympetrum kunckeli*

ハッチョウトンボの遊園地で 200 年まで記録があるが、それ以降は確認されていない。

発生していた湿地がミズゴケで埋まってしまった事や、ハッチョウトンボの保全のために、ヨシやガマなどの抽水植物を除去した事が原因だと考えられる。

【備考】レッドデータブックとやま 2012：絶滅危惧Ⅱ類

【記録】

- ・ 2005, 09, 25 2♂1♀ 目撃記録 中田達哉

45. ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum*

毎年秋に少数が確認されている。

現在ねいの里で記録される個体は全てメスの未熟個体であるため、園内で発生しているかは未確認である。

【備考】レッドデータブックとやま 2012：準絶滅危惧

【記録】

- ・ 2012, 08, 25 1♀ 撮影 垣地健太

46. ネキトンボ *Sympetrum specioum*

5号池と大池で見られ、未熟個体は森の生態園の林縁部で見られ、成熟するとオスは池の中にあるヨシや挿し木の上で縄張り行動をとり、メスが来ると連結し産卵する。

昼頃に集団で産卵する姿が見られる事もある。

【記録】

- ・ 2012, 09, 15 1♂ 撮影 中田達哉

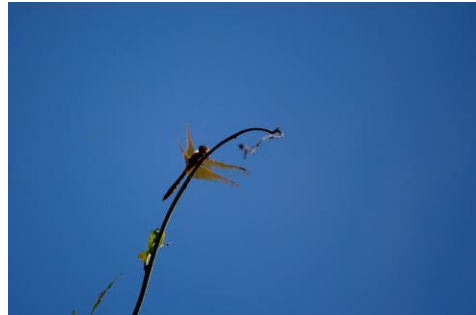
47. キトンボ *Sympetrum croceolum*

水辺の生態園で見られ、8月中旬から10月上旬までは池の中に生えた背の高い草の上で静止するオスの姿が見られるが、11月中旬になると低い草や地面に止まる姿が見られるようになる。

【備考】レッドデータブックとやま 2012：準絶滅危惧

【記録】

- ・2012, 10, 05 1♂ 撮影 垣地健太
- ・2013, 10, 04 1♂ 撮影 垣地健太



48. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata*

メダカとテツギョの池や大池で見られ、未熟個体が森の生態園の開けた場所で摂食行動をとる姿や、池の上で縄張りを張るオスの姿が見られる。

49. コフキトンボ *Deiellia phaon*

水辺の生態園下部の庭園や大池で見られるが、個体数は少ない。

【記録】

- ・2012, 07, 08 1♂ 撮影 垣地健太

50. ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea*

ハッチョウトンボの遊園地で見られる。

ねいの里に元々定着していた個体群もいるが、モートナイトトンボ同様に富山市婦中町嘉礼谷の生息地の埋め立てが決まったため、2011年6月17日にその場所の個体群を移植した。

【備考】レッドデータブックとやま 2012：準絶滅危惧

【記録】

- ・2012, 08, 13 1♂1♀ 撮影 中田達哉
- ・2013, 06, 29 1♂ 撮影 垣地健太
- ・2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太



51. ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia*

4号池、5号池、ハッチョウトンボの遊園地の池の縁で、縄張りを張るオスの姿がよく見られる。

【記録】

・2012, 08, 10 1♂ 撮影 中田達哉

52. ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

6月上旬から9月下旬にかけ飛来し、芝生の上で群飛している姿が見られる。

2012年9月には展示館の前で2時間以上同じ場所に止まっている個体が確認されている。

【記録】

・2012, 09, 13 1♀ 撮影 中田達哉

53. ハラビロトンボ *Lyiothemis pachygastra*

ハッチョウトンボの遊園地や下部庭園で記録がある、2011年5月にオス1匹が確認され、同年7月に羽化したばかりの個体が下部庭園で確認されたが、2012年は確認されなかった。

【記録】

・2011, 05, 13 1♂ 撮影 中田達哉

54. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum*

園内の全ての水域で確認されており、単独で静止している個体や、水辺では産卵するメスを警護するオスが見られることもある。

【記録】

・2012, 05, 17 1♂ 撮影 垣地健太

55. シオヤトンボ *Orthetrum japonicum*

水辺の生態園全域で確認されており、単独で地面に静止している個体や、産卵するメスを警護するオスが見られることもある。

【記録】

・2012, 05, 20 1♀ 撮影 垣地健太

56. オオシオカラトンボ *Orthetrum melania*

水辺の生態園全域で確認されており、単独で草や枝に止まる姿や、産卵するメスを警護するオスの姿が見られる。

【記録】

・2012, 07, 27 1♂ 撮影 垣地健太

・2013, 07, 19 1♂ 撮影 垣地健太

・2013, 09, 13 1♂ 撮影 垣地健太



57. ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata*

3号池やハッチョウトンボの遊園地で見られ、羽化している個体や、縄張りを張るオスがよく見られる。

【記録】

- 2012, 05, 19 1♂ 撮影 垣地健太
- 2013, 05, 02 1♂(羽化個体) 撮影 垣地健太
- 2013, 05, 09 1♂ 撮影 垣地健太

